

from IMPUL

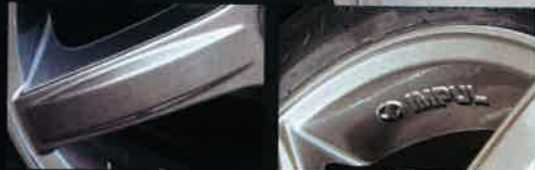
ホシノインバル TEL:03-3439-1122 <http://www.impul.co.jp>

元々は51フーガなどに向けて作られた20インチ版で好評を博していたRS S-05。スタイルはシンプルな5本スポークタイプで、ミレニアムと同様、正統派スポーティな装いが魅力になっている。特徴はアーチ状に盛り上げたスポークの天面。溝や凹みで変化を付けるのが

主流の中、あえて磨らませてマッピさを強調する。また、20インチ版からはディテールをアレンジ。リムは側面がよく見えるすり鉢状に変更して3D感を出し、フランジは細く仕立ててスタイリッシュに。単なるスポーツモデルに止めず、ユーロっぽいお洒落なムードも漂わせる。



センターまわりはマルチピッチ風のホールを配置。キャップはインバルマーク付き。スポークにはRSの文字を大胆に刻印。走りのイメージが一目かき立てられる。



インナー側に引き込むようにスポークを伸ばし、リムに繋げたユーロ風の意匠。すり鉢状にして深みを実現したリム。エアロゴコ入りでプレミアム感もたっぷり。



RS S-05

RS S-05

SIZE	INSET	HOLE	P.C.D	PRICE
15x5.0J	45	4	100	1万8900円

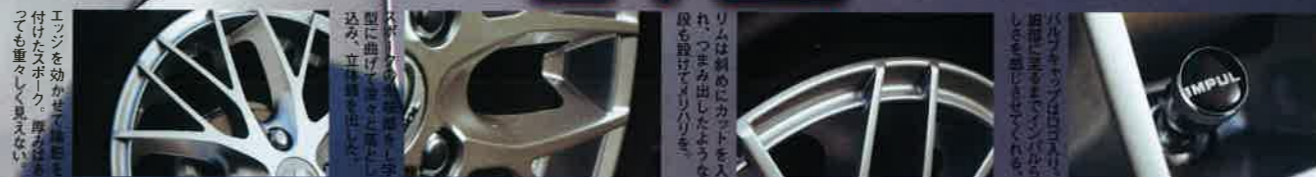
◆COLOR: プラチナシルバー

スポーティな中にキラリと覗くお洒落系ユーロの味わい

繊細さと力強さを併せ持つ 1ピースメッシュの新定番

Millenium

ミレニアム



エッジを効かせたメッシュ状のスポーク。厚みも重たく見えぬ。

デイズの販売開始に伴い、K業界に本格参入を果たしたインバル。ニッサンチューナーとしてレースでも活躍を見せる同社だけに、Kデビュー作となる2モデルも、スポーツテイストたっぷりの仕上がりだ。このミレニアムは、バランスのいい10交点メッシュを採用。スポークの股はキャップぎりぎりまで食い込

ませ、先端はフランジまで伸ばし切ってインチアップ効果を高めたのがポイント。このため一見細身に思えるが、斜めから見るとディスクの力強い厚みに気付かされる。さらにリムはつまみ出したような段付き形状で、奥行き感のある表情を演出。定番的なデザインでありながらひと味違う、まさに新定番と呼ぶべき1本。



SIZE	INSET	HOLE	P.C.D	PRICE
15x5.0J	45	4	100	1万8900円

◆COLOR: スパークルシルバー

佐藤 知範=文
Text by Tomonori Sato
宮野 政崇=写真
Photographs by Masataka Miyano

IMPUL meets DAYZ

内山 智子=文
Text by Tomoko Uchiyama
宮野 政崇=写真
Photographs by Masataka Miyano

セダン、コンパクト、ワゴンなど、幅広く手がけている日産専門ブランド、インバル。エアロから機能パーツまで、ディーラーで購入できる質の高いアイテムを提供している。そのインバルが、34年の歴史の中でも初となるKカーエアロを開発。スポーティでスマート。インバルらしい佇まい。

ホシノインバル TEL:03-3439-1122 <http://www.impul.co.jp>

Type B



Specification

フロントクロームスポイラー	2万1000円
リアクロームスポイラー	1万9950円
上級2速セット	3万6750円
グリルエンブレム (台座付き)	1万3650円
スポーツドア	2万5200円
ホイール	RS S-05 F/R5.0Jx15in inset45
足まわり	コイルスプリング (2WD)
タイヤ	ブリヂストン エコピアPZ-XC F/R165/55-15

純正開口部に合わせたデザインのフロントクロームスポイラーと、シンプルなリアクロームスポイラー。これだけで印象は大きく変わる。加えてグリルにはインバルロゴ。「グリルを作るうかとも考えましたが、せっかく特長的なメッキグリルが純正で付いているので、これを生かそうと。マークを変えるだけでも、イメージは大きく変わります」。クロームパーツはメーカー純正品も扱う国内工場生産した、クオリティの高い逸品。ホイールは進化を重ね、愛され続けている。インバル定番の5本スポーク、RS S-05。こちらも国産品である。



グリルエンブレムは日産マークと交換するだけの手軽さで、設置場所は、台座付き。



フロント開口部に合わせたデザインのフロントクロームスポイラー。これだけで印象は大きく変わる。



シンプルなリアクロームスポイラー。これだけで印象は大きく変わる。



カーボン製のエンブレムは両面を採取するクロームメッキが高級感抜群だ。

Type A



リアのエアロは、インバルのエアロと交換するだけの手軽さで、設置場所は、台座付き。



カーボン製のエンブレムは両面を採取するクロームメッキが高級感抜群だ。

Specification

フロントバンパー	5万4000円
リアバンパー	2万9400円
グリルエンブレム (台座付き)	1万3650円
スポーツドア	2万5200円
エアロサイドバイザー	2万5200円
ホイール	ミレニアム F/R5.0Jx15in inset45
足まわり	コイルスプリング (2WD)
タイヤ	ブリヂストン エコピアPZ-XC F/R165/55-15

インバルとメッキをあしらうという提案



マフラーは純正使用。メッキタイプはアルミ製の新作の「ミレニアム」シリーズの中にも力強さを感じさせる。計算し尽くしたデザインが魅力。K用は15インチを使用。



大きな逆台形開口部の上からシュッと切り上がるスリットライン。純正ドアパネルのラインと連動している造形だからこそ、十分にインバルを与えながらも、ボディに違和感なくしっくりはまる。個性的なのにゴテゴテ感を感じさせない。インバルならではの造形美。純正フォグまわりとリップ左右も同じようなライン使いで統一感を持たせ、リップ中央にはスポーティさを感じさせる台形型の溝を掘る。さりげない塗り分けで、表情をより豊かに見せる工夫。カサートとディフューザーを取り入れたリアは、ハーフながらもしっかりと主張する。「シンプルだけどゴツさも出たと思います」。

「インバルに関しては、これまでと比べて、発表会からして日産の力の入り具合が違ってくるように感じた。それに比例するかのようには、インバルを通して、『何かインバルの個性があるの?』という声も聞かされてくる。インバルが初めてKを手がけることを決意したのは、そんな背景からだ。もちろん「Kの人気は高まっているし、デザインもカッコイイ。やりたい意欲がわいてきた」というのも大きな理由です。」
どうせやるなら東京オートサロンに2台並べて、よりインバルがあるデビューを果たそう。そんな意気込みで発表された2タイプ。シルバーのタイプAは、シブいイメージが強い。個性的なバンパータイプのフロントエアロに、スポーツテイプリアエアロの組み合わせ。タイプBは前後リップ部にクロームスポイラーを付けたお手軽タイプ。インバルだが、ブラックボディにキラリとインバルロゴ入りメッキパーツが映え、高級感も抜群だ。

インバルの個性を出しつつも、インバルらしくないデザインも出てくる。インバルらしい佇まい。